

●～アンケート結果において、肯定的にとらえられているものが80%以下のもの【地】地域アンケート 【児】児童アンケート 【保】保護者アンケート 【職】職員アンケート

重点目標	具体的目標	具体的取組	自己評価			自己評定	学校運営協議会委員の評価・ご意見	最終結果	改善策
			○～成果	●～課題	◇～改善策				
〈知育〉 確かな学力の育成	授業作りに努める	<ul style="list-style-type: none"> ICT活用・対話活動の充実 授業の振り返りによる見届け 	<ul style="list-style-type: none"> 児童同士で練り合う姿が見られ、理解の定着につながった。 学校と家庭が連携して家庭学習に取り組みさせることができた。 			3	<ul style="list-style-type: none"> 授業については、児童の活発な意見が見られた。 家庭学習については、自主的な取り組みが見られるよう、今後も家庭と連携を図ってほしい。 学習支援については、今後も積極的に協力していきたい。 図書館サポーターと連携して、イベント等工夫して読書意欲の向上を図ってほしい。 今後も、計画的に本の購入を進めてほしい。 	3	<ul style="list-style-type: none"> 授業で理解した内容の定着を図るために、習熟の時間の設定や児童同士の学び合い等の手立てをとる。 意欲的に取り組める内容や児童の学力に応じた内容に取り組みせ、家庭への啓発を定期的に行っていく。 図書館に行く日を設定したり、図書館サポーターによるイベントの参加を促したりする。
	家庭学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の手引きの活用及び個に応じた課題の設定 家庭学習通信による啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 本に親しむ活動が展開され、環境を整えることができた。 ● 家庭学習には取り組めたが、自主的な取組までには至らなかった。【児、保】 ● 学習を十分に理解しているとまでは言い切れない。【保】 ● 熱心に読書をする姿はみられるものの図書室に足を運び借りる児童は少ない。【保、職員】 		3	3			
	読書の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 読書環境の充実 図書館サポーターとの連携 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 児童の実態に応じた家庭学習の取組 ◇ 図書室に行く日の設定（2週に1回） 		3	3			
〈徳育〉 豊かな心の育成	生活習慣の習得	<ul style="list-style-type: none"> あいさつの推進 名札着用の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 会釈をする児童、名札着用の児童が増えた 学年の枠を外して仲良く活動する姿が見られた。 			3	<ul style="list-style-type: none"> 登下校での挨拶は年度初めに比べて大変良くなった。しかし、地域で挨拶を出来る子どもと出来ない子どもの差が見られるので、今後も地域から積極的に声かけをし、習慣化を図ってほしい。 「早寝、早起き、朝ご飯」の生活リズムがしっかりと整えていくよう、家庭との連携を密にしていく必要がある。 名札着用の意義を明確していくことが、定着につながっていくと考える。 人権感覚の視点からも、児童・教師を問わず、言語環境作りを整えていく必要がある。 	3	<ul style="list-style-type: none"> 生活リズムの改善や挨拶運動を、さらに推進していく。 いじめ防止基本方針をもとに、組織的に児童の指導を行い、児童理解・早期発見・対応に努める 正しい言葉遣いの指導の徹底と、道徳の学習の充実、自らの言動を振り返る場の設定を通して、思いやりの心を培う。
	人間関係の構築	<ul style="list-style-type: none"> 異学年交流活動の充実 児童会活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳で学んだことを実践しようとする姿が見られた。 ● 地域で挨拶をする児童が半々でしっかりとできているまでは言えない。【地】 ● 「早寝、早起き、朝ご飯」の生活リズムや、机や棚の中の整理整頓、廊下歩行がしっかりと身に付いているとは言えない。【児、職】 		3	4			
	思いやりの心を培う	<ul style="list-style-type: none"> 道徳の授業の充実 自らの言動を振り返る機会設定 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 児童会活動をとおして、挨拶運動を活発にしていく。 ◇ 記録カードを活用し、生活リズムを整える。 		3	3			

●～アンケート結果において、肯定的にとらえられているものが80%以下のもの【地】地域アンケート 【児】児童アンケート 【保】保護者アンケート 【職】職員アンケート

重点目標	具体的目標	具体的取組	自己評定			自己評定	学校運営協議会委員の評価・ご意見	最終結果	次年度に向けての改善策	
			○～成果	●～課題	◇～改善策					
〈体育〉 たくましい体の育成	体力向上	○ サーキットトレーニングやストレッチの実施 ○ 外遊びの推進	○ 昼休みに外に出て元気で遊ぶ姿が多く見られた。 ○ フッ化物洗口に真剣に取り組む姿が見られた。			3	<ul style="list-style-type: none"> 持久走大会や縄跳び大会において、最後まであきらめず頑張る姿が見られ、体力向上につながっていて、大変良くなっている。 歯磨きの習慣化を図るための手立てを今後も取ってほしい。 食事の好き嫌いは家庭であるが、給食の様子を見ると、苦手な物も頑張って食べているようだ。 昔の遊び体験は、指導者がいれば子ども達の上達もより見られるので、積極的に関わっていきたい。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 新年度に宮崎大学ストレッチの内容や効果を確認する研修を行い、内容を追加する。 身体計測の結果から身体の成長が分かる個人カードを作成し、保護者に啓発していく。すこやかファイルを活用する。 	
	健康意識の向上	○ 個人カードの活用 ○ 食育指導	○ 児童が身の回りの安全に関心をもつことができた。 ● 体力作りを意識しての取組が十分とは言えない。【児】 ● 好き嫌いをする児童が見られる。【児、保】 ● 書くときの姿勢や食後の歯磨きへの意識した取組が身に付いていない。【保】 ◇ 家庭科や学級活動の授業をとおして、栄養バランスについて考えさせる。 ◇ 個人カードの活用をさらに充実させる。			3				3
	危機への対応力	○ 予告なし避難訓練の実施 ○ 学級担任と児童による安全点検				3				3
〈地域連携〉 ふるさと教育の充実	学校発信力	○ 学校ホームページの積極的更新 ○ 児童作品の応募の推進	○ 学校行事・授業の様子等を積極的に発信することができた。 ○ ふるさとへの思いを意識させることができた。			3	<ul style="list-style-type: none"> ホームページはよく更新されていて閲覧者も多く、情報発信ができています。 地域行事への参加は、地域の活性化に寄与している。 学校・保護者・地域が一体となった積極的な参加があり、ふるさと愛を培う点において素晴らしい事である。 児童作品の新聞掲載への取組を今後も積極的に行ってほしい。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 作品応募については、計画的に取り組んでいけるよう学期始めに応募できる内容を知らせる。 オリエンテーションを充実させ、地域行事への関わり方が、マンネリ化しないようにする。 地域の方の協力を当たり前と感じないよう声かけをし、感謝の気持ちをもたせる。 	
	ふるさと愛を培う	○ 地域行事に込められた思いの紹介	○ 学級担任と地域ボランティアとの連携がスムーズに図られた。 ● 児童作品の応募は随時行っているものの、新聞掲載された作品が少ない。【保】 ◇ 計画的に児童作品応募を行っていく。			3				4
	地域人材活用	○ 地域コーディネーターとの連携 ○ 感謝の気持ちの啓発				3				3